

春を待つ干潟

■動き出す生物

3月15日、暖かい日差しの下に干潟が広がっていた。水中の季節の変化は陸上よりも遅れるが、それでもゴカイやコメツキガニなどの生き物が動き出していた。水中の春も目前である。



Fig.1 ゴカイの仲間の巣穴

水を吹き出しており、水面がゆがんでいる。穴の周りには糞と思われるものが見られる



Fig.2
巣穴にいたゴカイの仲間



Fig.3 糞の形が異なる巣穴

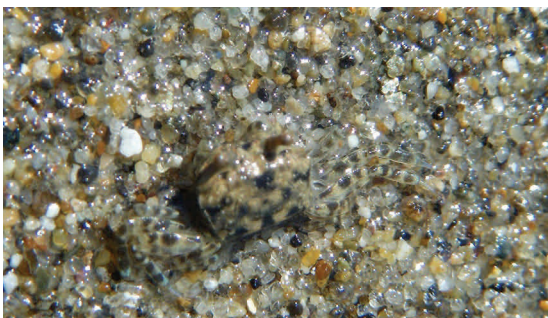


Fig.4 活動を始めたコメツキガニ
見事に砂に似た模様である



Fig.5 足環のついたハマシギ 番号は064